

5885  
SE59

酒類密造矯正事業

概要  
仙台財務局編  
昭和十八年六月



\*0039277000\*

0039277-000

588.5-S e 59ウ

酒類密造矯正事業ノ概要

仙台財務局

昭和18

AGI



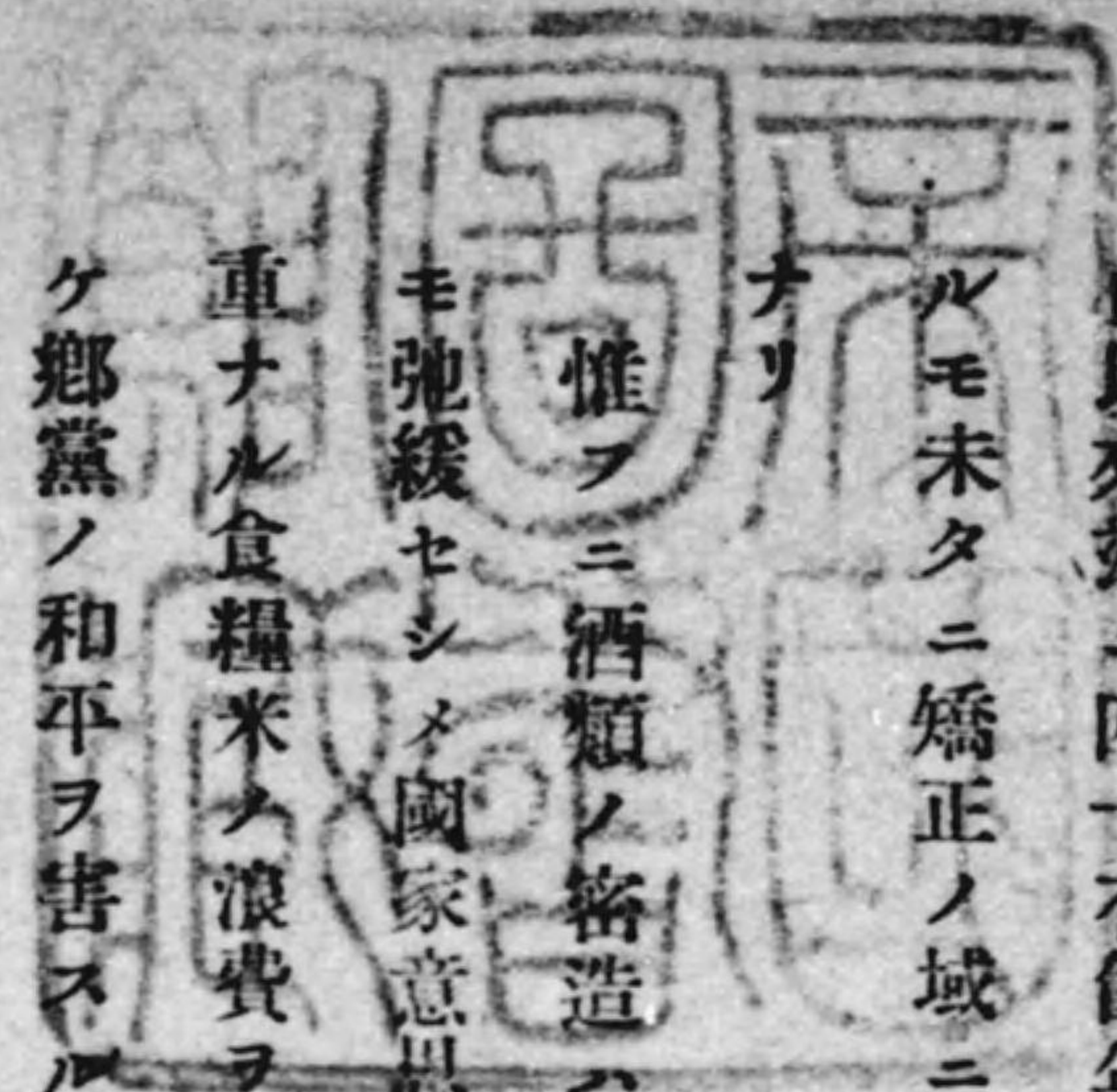
昭和十八年六月

酒類密造矯正事業ノ概要

仙臺財務局

緒言

當局管内ニ於ケル酒類ノ密造ハ東北特有ノ犯罪ニシテ弊風ノ禍根ハ極メテ深ク明治三十二年國法ヲ以テ禁止以來茲ニ四十有餘年官民協力事前防止トシテ幾多ノ施設ヲ講シ、事後ノ檢索ニ不斯ノ取締ヲ勵行シ來リタルモ未タニ矯正ノ域ニ達セス、輒近却ツテ益々増加ノ傾向ニ轉シツツアルノ狀勢ハ時局下洵ニ遺憾トス所ナリ



惟フニ酒類ノ密造ハ國法ヲ犯スモノニシテ、之カ慣習ニ泥ムトキハ一般ニ遵法觀念ヲ個人的ニモ團體的ニモ弛緩セシメ國家意思ヲ輕視スルノミナラス地方自治制ノ發達ヲ妨ケ地方風教ヲ害スルノ虞尠カラズ加之重ナル食糧米ノ浪費ヲ順致シテ地方經濟ノ紊亂ヲ招キ且ツ多飲ノ習性ヲ誘發シテ人倫ニ悖リ家庭ノ平和ヲ妨ケ郷黨ノ和平ヲ害スルニ至ル、シカモ醇朴ノ美風ハ險惡ノ惡習ニ變シ勤勉ノ良習ハ荒怠ノ陋俗ニ化スルニ至ルヘシ、又不完全ナル釀造操作ニ依リ得タル酒類ハ常ニ品質劣等ナルヲ免レス且ツハ製造時期ト場所ヲ選ハサルカ爲種々ノ有害分子ヲ多量ニ含有シ人體ノ機能ニ大ナル障害ヲ與フルハ勿論延ヒテハ難ヲ曾孫ニ及ホス虞アル等、之人文發達上ノ一大障害ニシテ國庫ノ被ル損害以上ノ禍害ナリト謂ハサルヘカラス

如斯酒類密造ノ弊風ハ管ニ國庫ヲ侵蝕スルノミナラス地方經濟ノ活動、國民生活ノ改善、兒童教育ノ振興國民體位ノ向上等ニ及ホス影響極メテ甚大ナルヲ思フトキ、斯弊矯正ノ目的ハ獨リ國家ノ歲入ヲ確保セント



スルノミニアラシテ、寧ろ密造ニ依リ派生スヘキ之等禍根ヲ芟除スルニ在ルコト自ラ明ニシテ如何ニ酒類密造ヲ矯正セシムルノ喫緊ノ要務ナルカヲ知り得ヘシ、然レトモ當局管内ニ於ケル酒類自醸自飲ノ因襲ハ事既ニ久シク今向之カ余弊トシテ敢行セラレ而モ他ノ犯罪ニ比シ酒類密造ヲ輕視スル傾向ナシトセサルカ故ニ單ニ法ノ威方ノミニ依リ之カ根本的廓清ヲ期セントスルハ至難ノ業ニシテ犯罪ニ對シテハ事後ノ檢索ヨリ事前防止ヲ以テ刑事政策上ノ妙諦トナス可ク從來有ユル手段ヲ盡シテ事前防遏ニ意ヲ注キ、精神教化ニ關スル諸般ノ施設ヲ講シ、地方有識者ノ奮起等ヲ求メ、一面酒類ノ密造ヲ誘發スヘキ諸種ノ原因ヲ探求シツツ之ニ制限ヲ加ヘ又ハ之ヲ除去スルコトニ努ムル等斯弊矯正ノ目的達成ニ努メツツアル所ニシテ、此ノ間他官公衛並ニ地方有識者ニアリテハ諸般ノ施設實施ニ當リ、熱誠協力援助、弊習ノ矯正芟除ニ鈔カラス盡瘁セラレツツアルハ甚ダ意ヲ強クスル所ニシテ洵ニ感謝ニ堪ヘサル次第ナリ

令ヤ我國ハ世界新秩序建設ノ一環トシテ大東亞聖戰完遂ニ一路邁進ノ途上ニアリ、一億國民ハ宜シク高度國防國家體制ヲ整ヘ鞏固不動ノ日本精神ト質實剛健ナル氣風ヲ涵養シ此ノ久シキ因襲ニ泥ミタル弊風ヲ革進的氣魄ヲ以テ根絶スヘキナリ

茲ニ矯正事業ノ概要ヲ摘録シ各位ノ高覽ニ供シ斯弊矯正ノ目的達成ニ寄與セラレンコトヲ望ムモノナリ

## 目次

### 緒言

第一 酒類密造取締ノ經過	一
第二 事前防止ノ施設	三
(一) 酒類密造矯正組合設立ノ經過	三
(二) 縣酒類密造矯正會役員ノ依屬	五
(三) 精神感化施設	五
(四) 酒類需給ニ關スル施設	八
(五) 密造原因芟除ニ關スル施設	九
(六) 他官公署並ニ各種團體ニ於ケル施設及活動ノ狀況	二二
(七) 地方廳員ノ局屬兼務制ノ實設	二〇

(八) 本局囑託員採用制ノ實設	三
第三 事後取締	三
(一) 平常取締	三
(二) 密造激甚期節ニ於ケル取締	三
(三) 間稅官吏協議會ノ開催	三
(四) 他官廳ノ援助	三
第四 密造ノ現況	三

### 第一 酒類密造取締ノ經過

東北地方ニ於ケル酒類自釀ノ風習ハ既ニ藩政時代ニ於テ、各領内ニ於ケル多飲ノ弊風矯正ニ腐心シタル史實ニ徴スルモ將タ又明治三十二年國法ヲ以テ禁止以來昭和十七年迄ノ檢舉件數十一萬七千四百七十七件(罰金額五百八十七萬九千八百六十五圓)ヲ數フル不生産的ニシテ不名譽ナル實例ニ徴スルモ因襲的禍根ハ極メテ深ク之カ矯正ニ一ノ段ノ努力ヲ要スル次第ナリ

今東北地方ニ於ケル酒類ノ自釀自飲ノ起因ヲ稽フルニ山間僻陬ノ農山村ニ於テハ飲酒ヲ措イテ他ニ慰安ノ方法ナカリシガ如ク禍福吉凶其ノ他有ユル會合ノ機會ニ於テ四季間斷ナク痛飲シ其ノ嗜好ノ年ト共ニ進ムヤ終ニ自家用酒ハ農村ノ必需品タルノ觀ヲ呈シ婦女子ニ至ルマテ之ヲ愛用シ其ノ釀造ハ婦女子當然ノ職務トセラレ釀造技術ノ巧妙ハ婚嫁ノ一要件タリシト聞ク、眞ニ一笑了過キサルカ如キモ如何ニ自釀自飲ノ旺盛ナリシカヲ想察セラルヘシ

如斯當局管内ノ酒類密造激甚地帯ニ於ケル斯弊ノ根絶ハ、而ク容易ナラサルモノアルニ鑑ミ明治四十三年秋田、仙臺ノ兩財務局ニ於テハ相前後シテ三ヶ年間繼續ノ酒類密造取締計畫ヲ樹立シ、大藏省ニ上申之ニ要スル經費ノ増配ヲ得、密造激甚地帯稅務署ニ特ニ密造取締專擔ノ補助雇員ヲ配位シ之カ取締ノ充實ヲ期シ一方事前防止ニ關シテモ相當施設ヲ爲シタル所アリタルモ弊風更ニ矯メラレス却ツテ益々蔓延ノ傾向ニアリタ

ルヲ以テ大正元年大藏省ニ於テハ十二月下旬ヨリ翌二年一月中旬ニ亘リ特ニ書記官ヲ派遣シ酒類密造ノ實況ヲ視察セシメタル結果東北地方ニ於ケル自釀自飲ノ弊風ハ其ノ根底全ク深ク單ニ苛察ナル檢舉ヲ專ラニスルニ於テハ徒ニ國費ヲ役シ民衆ノ反感ヲ招クニ過キサルヲ察知シ大正二年三月始メテ事前豫防施設ト事後檢案ノ二方針ヲ採ルニ至レリ。而シテ大正二年六月秋田、仙臺兩局合併セラルルヤ從來ノ施設ヲ綜合參酌シ酒類密造取締ノ局是ヲ定メ事前防止ト事後取締トノ二大方針ヲ確立スルト共ニ規定ヲ以テ密造激甚地稅務署ヲ指定シ特ニ人員經費ヲ配賦シ諸般ノ施設ヲ講セシメ之カ弊風ノ根絶ニ努メタリ、而シテ密造激甚地稅務署ハ密造ノ狀況ニ應シ從來多少ノ變更アリタルモ現在指定シアルモノ全管四十四稅務署中十九ヶ所ニシテ之ヲ縣別スルニ左記ノ通ナリ

秋田縣下 秋田、大館、能代、本莊、大曲、横手ノ六稅務署  
岩手縣下 盛岡、花卷、水澤、一關、二戸ノ五稅務署  
福島縣下 若松、坂下ノ二稅務署  
青森縣下 野邊地、八戸ノ二稅務署  
山形縣下 新庄稅務署  
宮城縣下 古川、築館、志津川ノ三稅務署

## 第二 事前防止ノ施設

### (一) 酒類密造矯正組合設立ノ經過

酒類密造ノ弊風ハ、單ニ之カ取締ノミヲ以テ根絶シ得ヘキモノニアラス、精神的感化ニ依リ一般民部ノ自覺反省ヲ促シ、以テ斯弊矯正ノ實效ヲ擧クヘク、密造激甚地帯ニ於テハ古クヨリ自治的矯正機關トシテ、密造矯正組合ヲ組織シタルモノアリタルモ、大正二年乃至四年ニ亘リ、各町村又ハ部落毎ニ一組合ヲ組織セシメ、多クハ町村長ヲシテ組合長トシ、區長、村會議員、小學校教職員、其ノ他有力者等ヲ實行委員トセル酒類密造矯正組合ノ設立普及ヲ圖リ、大體秋田縣ニ於テハ之カ實現シ得タルヲ以テ、其ノ聯絡統一ヲ圖リ之カ指導監督ヲ爲ス目的ヲ以テ、郡長ヲ會長トセル町村組合ノ聯合會ヲ各郡ニ設ケ更ニ大正四年六月縣知事ヲ會長トセル秋田縣聯合酒類密造矯正會ナル一大矯正團體ヲ設置シ、矯正上ノ基礎ヲ定メ亦、岩手縣ニ於テモ大正五年六月縣知事ヲ會長トセル岩手縣酒類密造矯正會組織セラレ兩縣共、既設組合、各種團體等ノ活動ヲ促シ官民協力ノ上前防止ニ努メタル結果、漸次矯正ノ機運ニ向ヒタルモ大正十五年郡制廢止セラレ次ヲ昭和元、二年ニ亘ル土地賃賃價格調査等稅務多端ノ爲メ矯正會事業モ暫ク中絶ノ姿トナリ次デ昭和六年米價暴落ニ依ル急激ナル農村不況ノ結果再ヒ酒類ノ密造者漸次擡頭シ來リ、甚タシキハ密造濁酒ヲ販賣スル者横行スル等惡質ナル事犯簇出シテ矯正成績逆轉ノ形勢ヲ招來シ、實ニ事態收拾シ能ハサル

狀況ニ陥リタルヲ以テ、之カ豫防對策トシテ專ラ精神感化ニ依ル民衆ノ自覺反省ヲ促スヘク、極力之カ矯正氣分ノ再興ヲ圖リ他官公衙、町村當局トノ連絡協調ヲ益々緊密ナラシムルノ外密造激甚地町村ニ於ケル講話會ノ開催、地方有力者トノ豫防協議、主婦ヲ主體トスル矯正會ノ設立、一般的警告又ハ酒類需給ノ圓滑ヲ圖ル等苛モ矯正上効果アリト認ムル施設ハスヘテ臨機之ヲ實行シ只管矯正氣分ノ更新ヲ圖リタル結果其ノ効果漸次見ルヘキモノアリタリ

猶最近密造激甚地ヲ管轄スル各稅務署ニ於テハ密造矯正ニ關スル各種施設ノ實行ヲ敏活ナラシムルト共ニ隣佑互ニ相戒メ自警自省以テ矯正ノ實ヲ舉ケシメンカ爲密造激甚地町村ニ對シ特ニ部落毎小組合ノ設置普及ヲ圖リ更ニ之等小組合ヲ連絡指導機關トシテ一町村毎打ツテ一丸トスル部落單位矯正組合聯合會ノ設立ヲ慫慂シ著々之カ結成ヲ見ツツアリ、而モ是等各種組合ハ隨時其ノ役員會、組合長會議又ハ總會ヲ開催シ矯正上夫々適切ナル施設ヲ講シ且ツ秋田、岩手兩縣ニ於ケル縣矯正會ノ總會及其ノ理事會ハ別表ノ通り連年開催シ居レリ(別表第二號參照)

試ニ各稅務署管內ニ於ケル昭和十八年一月一日現在密造矯正組合數ヲ示セハ左ノ如シ

區分	縣別		計
	町村單位	部落單位	
秋田縣	二〇五	九七二	一、一七六
岩手縣	一三八	四五四	五八二
福島縣	四	七八	九二
青森縣	九	一三四	一四三
山形縣	一八	一八七	二〇五
宮城縣	一八	二八七	三〇五
計	三八三	二、一三〇	二、五〇三

(一) 縣酒類密造矯正會役員ノ依囑

縣酒類密造矯正會役員數ハ昭和十八年一月一日現在ニ於テ秋田縣八三〇名、岩手縣一五八名、合計九八八名ニ達セルモ之カ役員ノ依囑ニ當リテハ官民有力者ハ勿論、教育家、神官、僧侶各種團體長並ニ婦人團體長等ニ依囑スルニ努メ社會教育又ハ家庭健全化ノ方面ヨリ矯正ノ實ヲ舉クルノ方針ヲ採リツツアリ

(二) 精神感化施設

(1) 講演會ノ開催

各種ノ民衆會合ノ機會ニ於テハ努メテ稅務署長臨席ノ上密造矯正ニ關スル講演ヲ爲シ又隨時特ニ密造矯正ニ關スル講演會ヲ開催シ成ル可ク判檢事、警察署長、町村長、學校長、神官、僧侶、地方有力者等ノ臨席ヲ求メ、且其ノ講演ヲ依頼セルニ各々其ノ立場ヨリ有益ナル講演ヲ行ヒ密造ノ非ナル旨ヲ説キ効果ヲ收メツツアルノ外近年ニ於テハ活動寫真若クハ浪花節其他ヲ利用シ、納稅思想ノ涵養ト兼ネテ密造矯正

正ニ關スル講演ヲ行ヒ、特ニ密造矯正ニ付テハ、家庭經濟ヲ主掌スル主婦ノ方面ヨリ矯正ニ努ムルノ一層效果的ナルニ着眼シ、主婦會、阿母會、處女會、其ノ他ノ婦人團體ノ會合ニ際シ、又ハ積極的ニ之等ノ會合ノ開催ヲ促シ、又最近ニアリテハ各種常會ニ參加シ密造矯正ニ關スル講演ヲ爲シツツアリ

右ノ外、警察官署ニ於テ火災豫防、衛生等ニ關スル講演會開催ノ際ハ、必ス密造矯正ニ付キテモ、言及セラルル様豫メ警察官署ニ依頼シ置キ、各地共之ヲ實行シツツアリ

昭和十七年ニ於ケル密造矯正講演會開催ノ狀況左ノ如シ (密造激甚地署分)

回數	聽講人員
宮城縣	一九、二一四
岩手縣	二〇、五九〇
福島縣	一、九五〇
秋田縣	三一、七三〇
青森縣	二、四一一
山形縣	二〇二
計	七六、一〇一

(2) 警告

酒類密造ノ激甚期節、其ノ他適當ノ時様ニ於テハ稅務署、警察官署、町村役場、地方密造矯正組合、其ノ他ノ各種團體ヨリ、又ハ是等ノ官公署諸團體聯合ノ下ニ、酒類密造ノ防止ニ關スル注意書ヲ民部ニ配付シ、或ハ密造地町村内ノ要所ニ注意書、ポスター類、又ハ密造矯正旗等ヲ掲ケテ、密造ノ事前防止方ヲ警告セリ

猶隨時密造矯正上參考トナルヘキ記事ヲ集録シテ印刷ニ付シ、之ヲ關係官公署、地方密造矯正會幹部、及其ノ他ノ各種團體長等ニ配付セリ

試ニ密造激甚地稅務署管内ノ昭和十一年中ニ於ケル印刷物ノ配付狀況左ノ如シ

ビラ	五、一〇〇枚	ポスター	三二〇枚
パンフレット	九、五九二	警告書依頼狀	八、三七一
統計表	二、四二七	統計圖表	八、二八三
計	三四、〇九三		

(3) 訓戒並ニ授職

裁判所檢事、警察署長、町村長、矯正組合長並ニ稅務署長等ハ常ニ協力シ密造常習者ニ對シ隨時警告ヲナシ又違反者ニ對シテハ適當ノ機會ニ於テ訓戒シ或ハ誓約書ヲ徵スル等、再犯豫防ニ努力シツツアリテ



昭和十七年中ニ於ケル訓戒者數ハ二千九百九十七人アリ、又貧困ニシテ一定ノ職業ナク生活ノ爲ニ濁酒密造販賣シタル常習的違反者ニ對シテハ町付當局竝ニ地方有力者等ト協議ノ下ニ職業資金ヲ與ヘ或ハ器具ヲ貸與スル等就職ノ方法ヲ講シ、昭和十年以來箸割業者ハ豆腐製造業等ニ從事シ、若ハ農耕地ノ貸與ヲ受ケ小作ヲナシ眞面目ニ生活シ居ル者十九名アリテ何レモ適切ナル豫防施設ナリトシテ一般好評ヲ博シツツアル所ナリ

#### (四) 酒類需給ニ關スル施設

酒類ノ密造ハ購入清酒ノ不廉ナルニ基因スル場合モ亦尠カラサルニ鑑ミ、可及的低廉且便宜ニ清酒ノ供給方法ヲ講セントスル目的ヲ以テ從來、(イ) 酒類製造場ニ遠キ農山村ニ在リテハ之カ運搬ニ要スル手數ト費用トヲ省ク爲適當ノ場所ニ酒類釀造場ヲ増設シ、酒類ノ供給ヲ圓滑ナラシメタルノ外、(ロ) 特別施設トシテハ地方ニヨリ多少方法ヲ異ニスルモ米酒交換ノ方法トシテ豫メ酒類製造業者ト協商シ、農家ニ於テハ酒造期節ニ米ヲ酒造家ニ交付シ置キ必要ノ時々交換米ノ石數ト同數量ノ清酒若クハ交換米ヨリ製造セラレタル清酒總石數ニ付テ僅少ノ製造手數料及酒稅相當額ヲ支拂ヒ之ヲ引取ラシメル方法ヲ講シ、(ハ) 又一方廉價酒供給ノ方法トシテ各地酒造組合ニ交渉シ町村長又ハ密造矯正組合長ノ證明アル者ニ限り酒造家ヨリ普通卸値又ハ卸値以下ノ特別割引價格ヲ以テ清酒ヲ引取ラシメル方法ヲ講スル等酒類需給ノ圓滑竝ニ便宜ヲ圖リ矯正上多大ノ効果ヲ收メ來タレリ

然ルニ最近ニ至リ戰時食糧政策ニ基キ酒造米ノ使用制限竝ニ米穀國家管理法ノ制定及ヒ臨時米穀配給統制規則ノ施行等ニ依リ、米穀ノ自由處分ヲ抑制セラレ米酒交換ノ施設ハ自然中絶トナリ、又從來行ハレタリシ廉價酒供給モ酒類生産統制ニ基因シ酒類ノ減釀ニ亞ク減釀ヲ餘儀ナクセラレ加ヘテ酒類配給機構ノ整備等ニ依リ之カ施設ノ實行至難ナル實情ニ逢着シタル爲、酒類ノ需給ニ關シテハ特ニ慎重考慮ノ上、酒類配給計畫樹立ニ當リテハ地方會社ヲ指導シ現下酒類ノ需給事情ニ鑑ミ需要増昂ノ趨勢ニアル業務用酒ノ配給ハ努メテ之ヲ抑制シテ家庭用酒ニ之ヲ振り向ケ、可及的農山村必需方面ニ於ケル酒類需給ノ緩和ニ努メ且ツ指定配給制度ヲ採用シ農山村ニ於ケル酒類ノ需要期タル插秧期、舊盆期、秋收期、年末年始期等ニ際シテハ能フ限り特配シテ其ノ需ヲ充タサセ、冠婚葬祭、應召、歸還入退營又ハ地方的ノ祝祭、集會等ノ行事ニ當リ、特ニ必要ナル場合ハ緊急用トシテ特別配給ヲ爲シ、事業場用、新興地帶用ニ對シテモ指定配給ノ方法ヲ講スルノ外、軍需産業勞務者、炭砂勞務者、其ノ他重要産業ニ從事スル勞務者ニ對シ一定數量ノ廉價酒類ヲ特配スル措置ヲ講スル等配給ノ適正ヲ圖リツツアル現況ナリ

#### (五) 密造ノ原因芟除ニ關スル施設

##### (1) 濁酒製造免許ノ取消

濁酒製造免許者カ濁酒ノ製造販賣ヲナシツツアリシ時代ニ在リテハ、密造濁酒ト課稅濟濁酒トノ判別容易ナラスシテ、密造ノ防止取締上ノ障害尠カラサリシヲ以テ、濁酒ノ製造免許者ニ懇談シタル結果、密造

激甚地帯ニ在リテハ大正三年以降濁酒製造免許者ナキニ至リ、其ノ他ノ地方ニ於テモ大正七酒造年度以降其ノ製造ヲ見ス、大正十一酒造年度ニ至リテハ管内ニ一ノ製造免許者ナキニ至レリ、然ルニ昭和元年秋田縣横手町ニ於テ濁酒消費組合ヲ組織シ、東京、名古屋、大阪ノ各稅務監督局管内ノ免許者ヨリ濁酒ヲ移入シ組合員ニ頒布スルモノアルニ至リ、一時秋田縣各地、岩手、青森兩縣下ニ於テモ之ニ倣ヒ、或ハ消費組合組織ノ下ニ、或ハ個人トシテ濁酒ヲ移入シ販賣スル者簇出シ、密造矯正上支障甚タシカリシヲ以テ、當局ニ於テハ濁酒移出地管轄各局ニ對シ、成ル可ク之カ移出ヲ抑制スル様當業者ニ交渉方依頼スルト共ニ、移入濁酒ニ付キテハ嚴ニ之ヲ監視シ、濁酒密造ニ利用セラルルコトナキヲ期シタルカ、他面需用者側ニ於テモ、之等ノ移入濁酒カ其ノ品質ノ下等ナルニ拘ラス、價格ノ不廉ナルヲ不滿トスルニ至リシ爲、昨今ニ至リテハ他管内ヨリノ濁酒移入ハ絶無トナルニ至リタリ

當時ニ於ケル濁酒移入ノ狀況ハ左ノ如シ

年次	移入地	秋田縣	岩手縣	青森縣	計
昭和元年		一三		一	一三
昭和二年		四三		六五	一〇八
昭和三年		五三		三三	八六
計		一〇九		一〇一	二一〇

(2) 麴ニ關スル取締

明治三十八年一月酒母醱及麴取締法ノ施行當時ニ於ケル麴製造業者ノ數ハ甚タシク多シテ之カ監視容易ナラス、而モ業者ハ販路ノ維持擴張ノ競争ヨリ酒類密造者ニ對シテ陰ニ便宜ヲ與ヘ甚シキニ至リテハ密造ノ原料タル酒母ヲ密造シテ供給スル者スラ尠カラサリシ狀況ナリシヲ以テ、當局ニ於テハ密造激甚地帯ニ於ケル群小麴製造場ヲ適宜地方毎ニ合同セシメ之ヲ法人組織トナシ、以テ正買ナル業務ヲ營マシムルノ方策ヲ講ジタルニ、業者ハ能ク之ヲ諒得シ法人組織トナスモノ漸次増加ヲ見ルニ至リ大正五年ニハ一、二ノ地方ヲ除キ大部分ノカ實現ヲ見タリ、試ニ麴製造場數ノ増減狀況ヲ示セハ左ノ如シ

年次	縣別	宮城縣	岩手縣	福島縣	秋田縣	青森縣	山形縣	計
明治四十年一月一日現在		二六九	二〇六	六八七	一、三〇七	三〇六	五五五	三、一九〇
大正一年一月一日現在		一八五	一四七	五九三	一、一四八	二八七	四七三	二、八三三
大正七年一月一日現在		一三九	一三四	五九八	四四四	三七一	三五五	一九三一
昭和十八年一月一日現在		一三六	一三〇	六三〇	三八四	三二一	三〇四	一、七九五

以上ノ如ク製造場ノ整理縮少ヲ圖ルト共ニ妄リニ販賣場ヲ設ケ又ハ麴ノ行商等ハ之ヲ爲ササル様協定シ尙  
 當業者ニ對シテハ原料米及出麴ノ検査ヲ受クヘキコトヲ命シテ一層監視ヲ嚴ニシ一方需要者ニ對シテハ麴  
 買入證ヲ町村役場ヲ通シテ交付シ、麴ノ買入ノ際ハ該買入證持參セサルトキハ販賣セシメサルコトトシ、  
 専ラ惡用防止ニ努メタリ

然レトモ近時農村經濟更生又ハ自給自足ノ理由ノ下ニ自家用麴ノ製造ヲ企圖スルモノ漸次多キヲ加ヘツツ  
 アルハ其ノ趣旨ニ於テハ一應首肯スヘキ點ナシトセサルモ自製麴ノ潤澤ハ動モスレハ密造ニ惡用セラルル  
 虞アルヲ以テ之カ防止施設トシテハ町村當局、駐在巡查或ハ矯正組合等ト協議ノ上自家用麴ノ製造者ヲ調  
 査シ、而シテ之カ製造ニ際シテハ其ノ石數及用途等ヲ申告セシムルノ方法ヲ講シ以テ其ノ惡用防止ト反省  
 自重ヲ促シツツアリ

更ニ又節米對策ニ協力シ併テ密造豫防ノ一端ニ資スルタメ麴製造業者ニ對シテハ味噌用漬物用等ヲ除キタ  
 ル其ノ他ノ販賣麴ハ可及的減石ヲ德通シ之ヲ實行セシメ尙密造簇出スヘキ季節即チ插秧期、年末年始期、  
 秋收期等ノ各期ニ於テハ麴ノ製造販賣ヲ休止セシムル等ノ方法ニ依リ密造防止上萬全ヲ期シツツアリ

(六) 他官公署竝ニ各種團體ニ於ケル施設及活動ノ狀況

多年ノ因襲ニヨル酒類密造ノ弊風ヲ根絶シ其ノ目的ヲ達成センカ爲ニハ獨リ稅務官廳ノ力ノミヲ以テシテ  
 ハ容易ナラサル實情ナルニ鑑ミ、當局ハ從來教育、宗教矯風其ノ他民衆ノ生活ニ關係ヲ有スル諸官公署、  
 各種團體、及地方有力者等ニ對シ常ニ機會アル毎ニ懇談ヲ遂ケ其ノ積極的活動ヲ要望シ來リタル結果幸ニ  
 シテ各方面ヨリノ支持ト援助トニ依リ矯正施設ノ顯著ナルモノ尠カラサルニ至リタルハ洵ニ感謝ニ堪ヘサ  
 ル所ナリ、最近ニ於ケル主ナル施設事項ヲ掲クレハ左記ノ如シ

A 官廳ニ於ケル豫防施設

- (1) 秋田縣學務部長ハ昭和四年七月、大館稅務署管内ニ於ケル密造激甚地ノ町村長及小學校長(當時)ニ對  
 シ、密造矯正上相當施設ヲ講スヘキ旨ヲ通牒シ、更ニ昭和六年一月、秋田縣下全般ノ町村長、小學校長(當  
 時)及男女青年團長ニ對シ同様ノ通牒ヲ發セラレタルノミナラス、斯弊矯正ノ捷徑ハ將來一家ノ主婦タ  
 ルヘキ者ノ精神感化ヲ爲スニ在リトノ見解ノ下ニ、爾來同縣立高等女學校ノ卒業式ニ參列ノ際ニハ、必  
 ス密造防止ニ關スル訓話ヲナサレツツアリ
- (2) 岩手縣學務部長ハ昭和六年六月、縣下各實業補習學校長、青年訓練所主事、各小學校長(當時)ニ對シ、  
 密造矯正ニ關シ盡力セラレ度キ旨通牒ヲ發セラレタリ
- (3) 秋田縣立師範學校長ハ、同校ノ卒業生ニ對シ、將來學校教育ノ方面ヨリ、密造矯正ニ盡瘁スヘキ様訓  
 示セラレツツアリ
- (4) 秋田〇〇聯隊長ハ、除隊兵ニ對シ、將來在郷軍人トシテ密造矯正ニ盡瘁スヘキ様訓諭セラレツツアリ
- (5) 秋田、盛岡兩聯隊區ノ司令官ハ、簡閱點呼ノ施行ニ際シ、在郷軍人ニ對シテハ勿論、其ノ他ノ參會者

ニ對シテモ、密造矯正ノ急務タルヲ力説セラレ、青年學校ノ教育ニ於テモ亦、常時同趣旨ノ訓達ヲ重ネ  
ツツアリ

(6) 秋田、岩手兩縣ノ警察部長ハ毎年六月頃開催セラレル警察署長會議ニ於テ、各警察署長ニ對シ、類酒  
密造ノ矯正取締ニ付一層盡瘁努力スベキ旨訓達セラレツツアリ

(7) 秋田縣警察部ニ於テハ、秋田縣犯罪豫防組合ノ設立ニ關シ、警察署長會議ノ開催セラレタル際、該組  
合ノ事業ノ一トシテ特ニ密造矯正ニ關スル事項ヲ加ヘ密造ノ矯正ニ盡力セラレツツアリ

(8) 青森縣警察部長ハ昭和八年七月、縣下各警察署長ニ對シ、酒類密造矯正取締ニ付一層盡力スベキ旨ヲ  
訓達セラレタリ

(9) 秋田、岩手ノ兩縣知事ハ、管内聯隊區司令官ト協議ノ上、密造矯正ニ關スル宣傳ヲビラ印刷シ簡閱點  
呼執行ノ際、之ヲ在郷軍人ニ配付シ、密造矯正ニ盡瘁セラレツツアリ

(10) 秋田縣知事ハ、昭和十一年七月、同縣警察署長會議開催ニ際シ、酒類密造ノ事前防止ニ對シテハ勿論、  
事後取締ニ對シテモ猶一段ノ努力スベキ旨訓示セラレタリ

(11) 岩手縣警察部ニ於テハ、昭和十一年九月、同縣警察練習生ニ對シ、特ニ密造矯正取締ニ關スル課外講  
演ヲ爲シ、以テ密造ニ對スル認識ヲ深カラシメ、尙一層矯正取締ニ努力セシムル事トセリ

(12) 秋田、岩手兩縣ノ學務部長ハ、昭和十三年以降密造地ニ於ケル小學校長(當時)ヲ招集シ、矯正ニ關スル

懇談會ヲ開催シ教育方面ヨリ更ニ矯正ニ努力セラレツツアリ

(13) 青森縣三戸營林署長ハ、昭和十一年三月、同署管内地方救濟事業關係者、國有林入林者及同事業出役  
者ニ對シ密造矯正上ニ關シ注意書ヲ發セラレタリ

(14) 秋田縣角館營林署ニ於テハ、同署管内生保内、田澤、楡木内各村ノ生活改善經濟更生協議會ノ實行項  
目ノ中ニ「濁酒ノ密造ヲナササルコト」ノ一項ヲ挿入シ、且違犯者ニ對シテハ、各種事業ノ特典ヨリ除  
外スル事ノ制裁ヲ規定シテ矯正ニ努力シツツアリ

(15) 秋田縣國民精神總動員地方實行委員會ニ於テハ、昭和十三年十月、常任幹事協議會ヲ開催シ、非常時國  
民生活縣民強調事項要目ニ「濁酒密造ノ禁斷」ノ一項ヲ挿入シテ矯正ニ努力セラレタリ

(16) 秋田縣ニ於テハ時局下節米關係ト食糧問題ヲ考慮ニ入レ、從來ヨリ一層密造取締ヲ強化シ、斯略矯正  
ノ徹底ヲ期スル方針ヲ定メ、昭和十四年十一月警察部長ヨリ管下各警察署長ニ對シ最善ノ努力方通達セ  
ラレタリ

(17) 秋田縣國民精神總動員實行部ニ於テハ、縣聯合婦人會ニ呼カケ、縣下農山村中酒類密造激甚ナル二十  
七ヶ町村ヲ選定シ、昭和十四年十一月中各町村毎ニ各戸ノ主婦ヲ集メ講演會ヲ開催シ、社會教育課員指  
導ノ下ニ公私生活刷新ノ具體的方策ノ一端トシテ密造矯正ヲ強調シ自覺反省ヲ促シタリ

(18) 秋田聯隊區司令部及秋田憲兵分隊ニ於テハ、應召軍人家族ノ密造犯ヲ調査セラレ、會合等ノ機會ニ此

等家族ノ自肅自戒ヲ促シツツアリ

### B 町 村

- (1) 貧困ニシテ一定ノ職業ナク、生活ノタメ濁酒ヲ密造販賣スル者ニ對シ、職業資金ヲ給與シテ就職セシメツツアル町村アリ
- (2) 負擔整理組合ノ設立ニ際シ、加入組合員ヨリ「將來絕對密造セサル旨」ノ契約書ヲ、組合員並組合長連署ノ上提出セシメ、密造防止ニ努力シツツアル町村アリ
- (3) 密造矯正費ヲ町村豫算ニ計上シ、優良矯正組合ヲ表彰、又ハ獎勵金ヲ交付シ其ノ指導誘掖ニ努メツツアル町村アリ
- (4) 密造矯正ニ關スル諸會合ノ際、活動寫眞又ハ浪花節ヲ利用シ、比較的遵法觀念ニ乏シキ婦女子並老人等ヲ多數集合セシメ、教化方面ヨリ矯正ニ努力シツツアル町村アリ
- (5) 經濟更生又ハ教化指定町村ニシテ、更生若ハ教化計畫ノ一項ニ密造矯正ニ關スル事項ヲ編入シ、矯正ニ盡力シツツアル町村アリ
- (6) 密造ノ比較的多キ季節ニハ必ス注意、警告書等ヲ配付シ、又隨時村報ヲ發刊シテ矯正ニ關スル記事ヲ掲載シ、一般ニ注意警告ヲ與ヘ矯正ニ努力シツツアル町村アリ
- (7) 部落矯正組合ノ統制指導ノ完璧ヲ期スルタメ、村ヲ一圓トスル矯正組合聯合會ヲ組織セシメ、村費ニ

之カ補助費ヲ挾上シ矯正ニ盡力シツツアル町村アリ

- (8) 一ヶ月間經濟戰強調運動ヲ實施シ、役場、國民學校、產業組合、農會、在郷軍人分會、國防婦人會、愛國婦人會、男女青年團、警防團、戶主會等村內凡ユル團體協調シ各種事項ノ外左記ノ事項ヲ決定實行シテ積弊一掃ニ努メツツアル町村アリ
  - 一、運動期間中ハ、カメテ節酒ヲ行ヒ、修養團體ノ會合、體育會、運動會等ニ於テ絕對ニ禁酒シ爾後恒久ニ之ヲ嚴守スルコト
  - 二、大詔奉載日ニ在リテハ絕對禁酒スルコト
  - 三、尙同期間中各團體分擔事項ヲ定メ役場ニ於テハ吏員一ヶ月間絕對禁酒、軍人分會ニ在リテハ密造矯正規約ノ實行、戶主會ニアリテハ濁酒密造禁絶運動ヲ夫々實行シタリ

### C、學 校

- (1) 秋田縣教育會長ハ、教育ノ力ニ俟ツニ非サレハ密造ノ根絶ヲ期シ難キ旨ヲ力説シ、熱心ニ教育關係者ノ注意努力ヲ促サレツツアリ
- (2) 秋田縣教育會長ヲ司會者トシテ開催セラレタル、昭和九年一月ノ第一回教育座談會ニ於テ、濁酒ノ密造ハ公民教育ノ缺陷ニ由來スル特殊犯罪ナリトスルノ見解一致シタリシ結果
  - (1) 秋田中學校ノ發表ニ係ル、學科經營案ノ公民教授目標ノ中、特殊事項

## (D) 秋田縣學務部ノ發表ニ係ル、執務方針ノ中、指導事項

ニ於テ、夫々密造矯正ニ關スル事項ヲ掲記シ、公民教育又ハ社會教育ノ方面ヨリ、密造矯正ニ努ムルノ要アルヲ闡明セラルルニ至リタリ

- (3) 宮城縣古川並岩手縣二戸兩稅務署管内ノ教育會長ハ、各其ノ管内青年學校及國民學校生徒ヨリ、密造ニ關スル作文ヲ募集シ、之ヲ輯録ノ上一般ニ配付シテ家庭ニ反映セシメ矯正ニ努力シツツアリ
- (4) 密造激甚地ノ中學校、女學校並國民學校ニ於テハ、密造矯正ニ關スル事項ヲ教授細目ニ編入シ、教育ノ方面ヨリ矯正ニ盡力セラレツツアリ
- (5) 密造ニ關スル童話ヲ創作シ兒童ヲ通シテ家庭ニ反映セシムルノ資トナシ密造矯正ニ努力シツツアル國民學校長アリ

## D 矯正組合

- (1) 地方矯正組合、又ハ其ノ聯合會ニシテ、密造矯正ニ關シ成績優良ナル個人、又ハ組合ヲ表彰シツツアルモノアリ
- (2) 國民學校兒童ニ依リテ組織セラルル少年消防隊ヲシテ、毎日夕食時ニ「濁酒ハ造ラヌ様ニシテ下サイ」「濁酒ハオ互ニ止メマセウ」ト戸毎ニ警告セシメツツアル矯正組合アリ
- (3) 密造ノ比較的多キ季節ニ際シ、密造防止ノ標語ヲ大書セル布旗ヲ自費ヲ以テ調製シ之ヲ組合區域内數

## E 其ノ他各種團體

ケ所ニ掲揚シ、以テ矯正ニ盡力シツツアル組合長アリ

- (1) 大谷派本願寺秋田教務所管事ハ、管下末寺百四十有餘ヶ寺ニ對シ、又岩手縣第二宗務所長ハ管下六十ヶ寺ニ對シ、夫々宗教的方面ヨリ密造矯正ニ盡力スル様通牒ヲ發セラリタリ
- (2) 地方矯正組合、青年團、消防組、酒造組合、麴製造者組合等ニシテ、密造防止ニ關スル宣傳ポスター其ノ他ノ印刷物ヲ配付シ、銳意斯弊ノ矯正ニ盡力シツツアルモノ尠カラス
- (3) 毎年六月十日ヲ密造防止デート定メ、密造防止宣傳ポスター、ヲ一般ニ配付シ、又組合員ニシテ密造シタルモノアルトキハ斷乎トシテ之ヲ除名シテ矯正ニ努力シツツアル杜氏組合アリ
- (4) 社會教育委員會並方面委員協議會ニ於テ、其ノ教育要綱或ハ實行項目ノ中ニ「密造矯正ニ關スル一項」ヲ挿入シ矯正ニ努力シツツアルモノアリ
- (5) 青年團ニ於テ特ニ濁密矯正班ヲ組織シ、各團員ハ「密造矯正」ト染メ抜キタル白禱ヲナシ、居村神社ニ集合ノ上、密造矯正ノ祈願ヲナシ矯正ニ努力シツツアルモノアリ
- (6) 農會ノ婦人總會ノ開催ニ際シ、密造ニ關スル講話ヲナシ、主婦ノ覺醒ニ努メツツアル農會アリ
- (7) 密造違反者ニ對シ、二ケ年間飯米貸與ヲ中止シ、矯正ニ努力シツツアル農事實行組合アリ
- (8) 發會式舉行ニ際シ「一切ノ惡風ヲ矯メヨ」ト宣言シ、密造矯正ニ努力シツツアル國防婦人會アリ

(9) 日蓮宗尼僧ニシテ附近町村ノ酒類密造激甚ナルヲ憂ヒ、信者ノ多クハ主婦ナルニ鑑ミ説教ニ際シテハ密造ノ罪惡ナル所以ヲ織リ込ミ信仰ヨリ善導シツツアルモノアリ

(七) 地方廳員ノ局屬兼務制ノ實施

地方諸官公署、各種團體、及地方有力者等ニ於テ相當施設ヲ講シ、酒類密造矯正ニ盡力セラレツツアルコトハ上述ノ如クナルカ、此等各方面ニ對シ矯正事業促進上ノ協議ヲ行ヒ、又ハ其ノ施設ヲ指導誘掖セシムルカ爲、其等各方面ニ密接ノ關係ヲ有スル地方廳員ヲ、兼務本局屬ニ任用スルコトトシ當初左記ノ如ク任命シタル

大正六年七月十四日

秋田縣警部 一名

大正七年五月十日

岩手縣警部 二名

同 日

同 縣 屬 二名

其ノ後、兼務局屬ノ人員ハ時々變更アリテ、現在ニ於テハ左ノ三名ナリトス

秋田縣刑事課長

警 部 一名

同縣保安課長

同 一名

岩手縣刑事課長

同 一名

(八) 本局囑託員採用制ノ實施

密造矯正ニ關スル諸官公署ヘノ折衝、及地方ニ於ケル講演會ヘノ出演ニ當ラシメル爲メ、人格識見共ニ高キ地方有力者ヲ、本局囑託員ニ採用スルコトトシ、昭和三年十二月始メテ秋田縣ニ一名本局囑託員ヲ採用シ專ラ民部ノ精神感化ニ努メサセ頗ル良好ナル成績ヲ收メツツアリ

第三 事後取締

(一) 平常取締

密造取締従事員ハ限定シ居ラサルモ大體稅務署ニ在リテハ従事人員二名乃至三名ヲ一組トシ普遍的取締ヲ主眼トシ最盛期取締ニ於テハ密造ノ實況ヲ考察ノ上臨機一組ノ人員ヲ増加シテ取締ノ周到ヲ期シツツアリ

(二) 密造激甚期節ニ於ケル取締

(1) 聯合監視

數箇ノ隣接稅務署管轄地ヲ一括シテ之ヲ一區域トシ各稅務署ヨリ一名乃至二名ノ收稅官吏ヲ選拔シ數名ノ部班ヲ作り本局員指揮ノ下ニ右區域内ノ密造取締ニ従事セシムルモノニシテ往時ニ在リテハ其ノ一組ノ従事員多キトキハ二十數名ニ達シ之ニ郡長、檢事、警察官吏等參加ノ上大規模ナル取締ヲ執行シタリ

(2) 局署合同取締

隨時本局員ヲ密造激甚地稅務署ニ出張セシメ密造ノ狀況ヲ觀察セシムルト共ニ平素取締ノ缺陷ヲ補ハシ  
カ爲局署合同取締ノ計畫ヲ樹テ違反者ノ一齊檢舉ノ方策ヲ講シ以テ可及的取締ノ充實ヲ期シツツアリ

(3) 密造地ノ駐在取締

密造激甚地稅務署管内中ニ於テモ地域ニヨリテハ密造ニ厚薄濃淡アリ、若シ之等密造濃厚地帯ノ絶滅ヲ  
期シ得ルトセハ矯正事業大半ノ目的ヲ達成シ得タリト爲スニ近カルヘキモ之等ノ地方ハ概シテ文化程度  
低ク交通モ亦不便ニシテ尋常ノ取締ヲ以テシテハ容易ニ其ノ目的ヲ達成シ難キ實情ナルニ鑑ミ茲ニ特別  
施設トシテ駐在取締ヲ施行スルコトトシ、毎月交替ニテ二名宛ノ收稅官吏ヲ常時駐在セシメ一面民部ニ  
對シテハ極力教化善導ニ努ムルト共ニ不斷ニシテ嚴密ナル取締ヲ執行シ他面駐在巡查、町村當局、密造  
矯正組合並ニ各種團體ノ幹部等ト緊密ナル聯絡ヲ保チ矯正事業ノ促進ヲ圖リツツアリ、其ノ結果民衆ハ  
大イニ覺醒シ其ノ面目ヲ一新シ取締員ニ對スル威觸モ亦昔日ノ如クナラス漸次良好トナリ遂年好成绩ヲ  
收メツツアル狀況ナリ

本制度ハ昭和三年十二月初メテ實施セラレ今日ニ及ヒタルモノニシテ爾來密造ノ狀況ニ應シ多少ノ變遷  
アリタルモ實施ノ沿革ハ次表ノ如シ

署名	執行地域	駐在取締 従事人員	備考
大館	○前田一ヶ村 上小阿仁、下小阿仁ノ二ヶ村	二	昭和三年十二月ヨリ實施 同 六年九月廢止
本莊	川内、直根、笹子ノ三ヶ村	二	昭和四年十月ヨリ實施 同 六年九月廢止
大曲	大澤郷、強首、淀川ノ三ヶ村	二	同上
横手	仙道、田代ノ二ヶ村	二	同上
横手	三重、淺舞、植田、睦合、福地、沼館ノ 二町四ヶ村	二	昭和八年八月十五日ヨリ二區域ニ テ實施中ノ處、昭和九年十月二十 四日ヨリ三區域ニ變更シ目下實施 中
同	西馬音内、元西馬音内、三輪、山田、明 治、新成ノ一町五ヶ村	二	
同	大森、八澤木、阿氣、田根森、川西、館 合ノ一町五ヶ村	二	
大館	阿仁合、大阿仁ノ一町一ヶ村	二	昭和八年九月一日ヨリ實施中ノ處 シ目下實施中
同	前田一ヶ村	二	昭和九年六月ヨリ實施中 六、十一月、二ノ三ヶ月
本莊	上川大内、下川大内、大正寺ノ三ヶ村	二	
築館	北方、南方、米山、吉田、豊里、淺水、 上沼、寶江、石越、新田、石森ノ十一ヶ町村	二	同上

(2) 間稅官吏協議會ノ開催

酒類密造取締事務ノ緊急刷新ヲ圖ル爲、昭和五年十一月秋田市ニ於テ、秋田縣下各稅務署在勤間稅官吏全



員ノ事務打合會議ヲ開催シ、酒類密造取締事務ニ關シ諸般ノ打合ヲ行フト共ニ、秋田地方裁判所里見檢事正、窪出檢事、萱場秋田縣警察部長、松岡秋田縣學務部長及小林定修氏ノ有益ナル講演ヲ聽ケリ

(四) 他官廳ノ援助

酒類密造ノ矯正取締ニ關シテハ、從來、裁判所側及警察官憲ヨリ、多大ノ好意ヲ以テ萬般ノ援助ヲ受ケツツアルハ、洵ニ感謝ニ堪ヘサル所ナリ、其ノ主ナル事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

(1) 裁判所側ノ援助

- (イ) 犯則處分ノ效果ハ、將來ニ於ケル密造矯正ニ影響スル所頗ル多キヲ以テ、罰金通告ニ際シ重要事件ニ付テハ、處分上豫メ檢事ト協議ヲ遂クル等、遺憾ナキヲ期シツツアリ
  - (ロ) 密造取締事務ニ從事中ノ稅務官吏ニ對スル公務執行妨害ノ事犯ハ裁判所側ニ於テ特ニ之ヲ重視シ、嚴重處斷セラルルノ結果、矯正上頗ル好影響ヲ齎シツツアリ
  - (ハ) 告發事件ノ處理並ニ罰金不納者ニ對スル換刑處分ヲ迅速ナラシメラルルノ結果、矯正上相當ノ好影響ヲ與ヘツツアリ
  - (ニ) 稅務側ノ會合、又ハ縣矯正會理事會等ノ開催ニ際シ、裁判所側ヨリ特ニ臨席ノ上、密造ノ矯正取締ニ關スル有益ナル講演ヲセラレ、取締執行上裨益スル所多大ナルモノアリ
- 最近ニ於ケルニ、三ノ事例ヲ示セハ左ノ如シ

一 宮城控訴院青山次席檢事ハ、昭和八年六月開催ノ當局管内稅務署間稅課長會議ニ臨席セラレ、密造ノ矯正取締ニ關シ有益ナル講演ヲセラレタリ

二 仙臺地方裁判所神谷檢事正ハ、昭和九年二月開催ノ當局管内稅務署長會議ニ臨席セラレ、密造ノ矯正取締ニ關シ有益ナル講演ヲセラレタリ

三 和田宮城控訴院檢事長ハ、昭和十一年十月秋田市ニ於テ開催ノ秋田縣聯合酒類密造矯正會理事會ニ臨席セラレ密造矯正上ニ關シ有益ナル講演ヲセラレタリ

四 秋田縣橫手檢事局ノ山本檢事ハ、秋田縣農村ノ更生ハ密造矯正ニアリトナシ、凡ユル機會ニ於テ密造矯正ニ盡力セラレ殊ニ

昭和十二年六月、秋田縣湯澤町ニ於テ開催ノ雄平二郡財務協議會ニ臨席セラレ、又昭和十二年自七月至十一月期間内雄平二郡十七ヶ町村ニ於テ開催セラレタル密造矯正講話會ニ特ニ全部ニ亘リ臨席セラレテ、矯正上有益ナル講演ヲセラレタリ

五 其ノ他、宮城控訴院豊田檢事長、秋田地方裁判所中島檢事正等、管内巡視ノ機會ニ於テ特ニ稅務側ニ對シ協力援助セラレタルカ如キ等ノ例モ亦尠カラス

(2) 警察官憲ノ援助

酒類密造ノ矯正ニ關スル諸會合ニ際シ、所轄警察署長カ特ニ臨席講演セラルル等、警察官憲ハ獨リ事前

防止ニ協力セラレルノミナラス、密造ノ事後取締ニ關シテモ常ニ多大ノ援助ヲ與ヘツツアリ、其ノ主ナル事項ヲ擧クレハ左ノ如シ

(イ) 隨時稅務官吏ト警察官吏トノ合同取締ヲ執行シ、特ニ秋田縣、岩手縣及青森縣ニ於テハ歴代ノ警察部長ハ部下ニ命シテ稅務署ト協調提携セシメ、密造激甚季節ニ於テハ殆ント每期警稅合同取締ヲ執行サレツツアリ

(ロ) 隨時警察官吏カ單獨、或ハ數名合同ノ下ニ密造ノ取締ヲ執行シ、仍テ檢舉シタル犯則事件ヲ稅務署ニ引繼カレタルモノ尠カラス、殊ニ秋田縣横手稅務署管内、岩手縣、及宮城縣下密造激甚地署管内ニ於ケル濁酒、酒母、又ハ麴ノ密造販賣者ニシテ、稅務官吏ノ容易ニ檢舉シ得サル犯則事件ヲ、警察官吏之ヲ檢舉シ引繼キセラレタル事例多シ

(ハ) 犯罪嫌疑者ヲ内偵シ、稅務官吏ニ通報セラレタルモノ多數アリ

(ニ) 以上ノ外、犯則事件ノ調査ニ關シ、稅務官吏ヲ援助セラレタルコト亦尠カラス

(ホ) 自費ヲ以テ密造矯正ニ關スル矯正歌、及矯正旗ヲ調製シ、之ヲ自己受持ノ駐在區域内ノ各戸ニ配付シテ警告ヲナスト共ニ自ラ取締ヲナシツツアル警察官吏アリ

(ヘ) 舊年末ニ際シ自ラ警告書ヲ印刷シテ部内各戸ニ配付シ、矯正氣分ノ喚起ヲ促スト共ニ節酒ヲ獎勵シツツアル警察官吏アリ

以上裁判所側及警察側ヨリ格別ノ援助ヲ受ケタル結果、密造矯正上多大ノ效果ヲ齎シ、往時頻出セル稅務官吏ニ對スル公務執行妨害、暴行、脅迫等ハ殆ント其ノ跡ヲ絶ツニ至レリ

#### 第四 密造ノ經過並現況

當局管内ニ於ケル酒類密造ノ盛衰ハ別表ニ示ス通ニシテ國法禁止以來久シキニ互リ年ニ依リ一進一退ヲ繰返シツツ以テ今日ニ及ヒタルカ之カ消長ハ農村ニ於ケル經濟狀況ニ至大ナル關係ヲ有スルコト明ニシテ、即チ大正五年ノ農村不況時代ニ在リテハ違反件數五、三八八件此ノ罰金額二一〇、〇五五圓ノ最高記録ヲ示シ漸次經濟界ノ好轉ニ伴ヒ密造亦減少シ大正十三年ニハ違反件數一、〇〇二件罰金額八七、二〇八圓ノ激減ヲ見タルカ如キハ其ノ最モ明白ナル事例ニシテ、其ノ他ノ年ニ在リテモ經濟事情ト密接ナル關聯ヲ有スルコト別表ニ依リ窺ヒ知ルヲ得ヘシ

斯ノ如ク從來酒類ノ密造ハ農村ノ不況ニ因ル疲弊甚タシキ時代ニ多ク行ハレタリシモ最近ニ於ケル密造ノ情勢ハ其ノ趣ヲ異ニシ、農村經濟ノ好況時ニ於テ之カ猖獗ヲ見ルノ反對現象ヲ呈シツツアリ、之諸種ノ事情ニ基クモノアリトスルモ畢竟スルニ農家計ノ安定ニヨル購買力ノ餘裕生シタルニ伴ヒ一般的ニ飲酒慾ノ昂進ヲ來シ時局下アラユル意味ニ於テ節酒ヲ必要トスルニ拘ラス、從來以上ノ酒量ヲ慾求シツツアルカタメ自然酒類ノ配給量數ノミニテハ満足シ得ス、敢テ窃ニ自釀スル者増加シ、昭和十二年支那事變勃發當初ノ自釀ヲ

裏切り再ヒ逆轉シ昭和十四年ニハ違反件數二、〇〇四件（罰金額九三、二一四圓）ニ過キサリシモ同十五年ニハ二、四四四件（罰金額二二〇、六九八圓）ニ達シ、更ニ同十六年ニ至リテハ三、一〇九件（罰金額一四九、二六五圓）尙更ニ昭和十七年ニ至リテハ四、四九五件（罰金額二二四、二九五圓）トナリ之ヲ前年ニ對比スルニ實ニ件數ニ於テ一、三八六件（四割四分六厘）罰金額ニ於テ七五、〇三〇圓（五割三厘）ノ激增ヲ示シ尙益増加ノ趨勢ニアリ殊ニ近時酒類需給ノ逼迫ニ乘シ販賣目的ニ係ル惡質ナル違反者増加ノ情況ニアリテ瞬時ノ弛緩ヲ許ササル眞ニ憂慮ニ堪ヘサル現況ナリ

惟フニ現下ニ於ケル物資ノ不自由ハ獨リ酒類ノミニ止ラサルハ勿論、節米國策ヘノ協力、將又國民体位昂揚ノ重要性ニ鑑ミルトキ徒ニ法ヲ無視シ國意ニ背反スルノ所爲ハ許サレズ、今ヤ一億一心鐵石ノ堅キ決意ヲ以テ自肅自戒只管臣道ノ實踐ト職域ノ奉公ヲ期セサルヘカラサルノ秋、地方ニ於ケル實情ヲ具ニ洞察シテ之ニ對應スル方策ヲ攻究シ、宜シク啓蒙、認識ノ徹底ニ努メ以テ事前防止ニ事後ノ取締ニ更ニ一段ノ努力ヲ致サントス

別表（第一號）

自家用酒禁止以來ノ密造犯檢舉件數、罰金調其他調

年 別	檢舉件數	其年中通告履行及裁判確定ニ依ル罰金額	一件當罰金額	通告處分件數ニ對スル一件當罰金額	同上ノ内通告履行件數ニ對スル一件當罰金額	通告履行歩合	摘 要
明治三二	一、二六六	二六、四六七	三、七〇	不明	不明	不明	
三三	一、五〇三	三五、八〇八	三、八四	不明	不明	不明	
三四	一、三六一	三六、五三八	二、八五	不明	不明	不明	
三五	九九五	五、二〇八	五、四七	不明	不明	不明	
三六	一、三三九	七三、五〇九	五、九三	不明	不明	不明	
三七	一、九一〇	一一九、四三六	六、二五	不明	不明	不明	
三八	一、五七四	一〇〇、四三六	六、八一	不明	不明	不明	
三九	二、三三三	一四三、二二六	六、一八	不明	不明	不明	
四〇	二、三五九	一三一、六九一	五、三〇	不明	不明	不明	
四一	二、九七六	一四五、四一五	四、八六	不明	不明	不明	

九	八	七	六	五	四	三	二	昭和元	一四	一三	一二	一一
三,三三四	三,三三四	二,六一七	二,三三七	一,七一五	一,七八三	一,五四五	一,七四八	一,三八九	一,一〇六	一,〇〇三	一,二一八	二,〇八五
一五五,九三九	一二七,四八二	九三,九四六	九八,三二八	一〇〇,一一〇	一一六,四六四	九六,〇〇四	一〇八,五八〇	九四,一三七	七三,七四七	八七,三〇八	一〇五,三二六	一八七,八八七
四六,九一	三六,四四	三五,九〇	四六,〇一	五八,三七	六五,三三	六二,一四	六三,一二	六七,七七	六六,六八	八七,〇三	八六,四七	九〇,一一
四三,一三	四〇,七八	四五,三三	四八,八二	六三,一九	六五,九〇	六四,四五	六七,二四	七三,一六	七六,〇四	八五,四六	八九,九一	八〇,九五
三〇,一二	四一,八三	四一,四四	五〇,七六	六一,八〇	六三,〇三	六三,二九	六五,六七	七一,八一	七六,〇二	八四,四四	八九,八九	八一,三〇
四九八	五六〇	五七七	五三〇	六四〇	七一九	六八四	七五六	七三五	八二三	七九一	八三一	八五〇

一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	大正元	四四	四三	四二
二,九三九	二,六四九	二,七六九	三,一九六	四,五三四	五,三八八	三,九九八	二,八七五	三,七八二	五,三四六	五,八一五	四,四七三	三,九八四
三三一,九一四	二二七,五六三	一八八,八〇八	一七〇,七八五	二〇八,九九五	二二〇,〇五五	一五〇,五二四	一〇八,一〇八	一三七,〇八四	二一九,八五三	三三三,七六一	二二五,六三七	一九三,九九三
七九,一八	八五,九一	六八,一九	五三,四五	四六,一〇	三八,九九	三七,六五	三七,六〇	三六,三五	四一,一二	四〇,二〇	四八,二三	四八,四四
八〇,四四												
七九,三三												
八一〇												

計	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
	四、四九五	三、一〇九	二、四四四	二、〇〇四	二、四六三	二、六六三	三、一〇八	三、一九七
	二二四、二九五	一四九、三六五	一三〇、六九八	九三、三二四	一〇九、四一八	一二八、七九三	一四三、三五三	一三八、〇三〇
	五〇、〇八	四九、九〇	四八、〇一	四九、三九	四四、四三	四四、六一	四五、八〇	四〇、〇四
	五六、八〇	五六、七五	四八、八九	五〇、一二	四三、〇六	四四、五三	四六、五八	四三、三三
	五七、四一	五六、八六	四八、九一	五〇、三七	四三、三八	四六、〇〇	五〇、一七	四四、七七
	八四三	九六九	九四四	九〇八	八〇五	七六六	六二六	五四九

別表 (第二號)

縣酒類密造矯正會ノ總會並ニ理事會開催ノ狀況

秋田縣ノ部

開催年月	會名	稱	開催場所
大正四年六月	秋田縣聯合酒類密造矯正會創立總會		秋田市
大正五年四月	同 第一回總會		横手町
同 年十一月	同 第二回總會		本莊町
大正六年十月	同 第三回總會		能代港町
大正八年十一月	同 第四回總會		大曲町
大正九年七月	同 理事會		秋田市
大正十年八月	同 理事會		同
同 年 十月	同 第五回總會		大館町
大正十一年十一月	同 理事會		秋田市
大正十二年七月	同 理事會		同

大正十三年五月	同	同理事會	同
同 年 同 月	同	同第六回總會	花輪町
大正十四年四月	同	同理事會	秋田
大正十五年四月	同	同理事會	同
昭和三年四月	同	同理事會	同
同 年 十 一 月	同	同第七回總會	大館町
昭和四年六月	同	同理事會	秋田
昭和六年五月	同	同理事會	同
昭和七年五月	同	同理事會	同
昭和八年五月	同	同理事會	同
昭和九年六月	同	同理事會	同
昭和十年六月	同	同理事會	同
昭和十一年十月	同	同理事會	同

岩手縣ノ部

昭和十二年十二月	同	同理事會	同
昭和十三年十一月	同	同理事會	同
昭和十四年十一月	同	同理事會	同
昭和十五年十一月	同	同理事會	同
昭和十六年八月	同	同理事會	同
昭和十七年八月	同	同理事會	同

開催年月	會名	開催場所
大正五年六月	岩手縣酒類密造矯正會創立總會	一關町
大正六年六月	同第一回總會	盛岡市
大正七年六月	同第二回總會	同
大正八年六月	同第三回總會	同
大正九年七月	同理事會	同

昭和十七年八月	昭和十六年八月	昭和十五年十一月	昭和十四年十一月	昭和十三年十月	昭和十二年十二月
同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會
同	同	同	同	同	同

昭和十一年十月	昭和十年六月	昭和九年六月	昭和八年五月	昭和七年五月	昭和六年五月	昭和四年六月	昭和二年九月	大正十四年七月	大正十三年六月	大正十二年八月	大正十一年十一月	大正十年九月
同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會	同理事會
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

967  
E  
128

製本控 同第 號

書名	967	函號	128	年	月	日
著者	收引、18年、林 ( 業、概、要 )					
受入	年	月	日	仙紅財務局		
備考	/ 冊					



967  
E  
128

